

Ⅱ 労働者福祉事業

労災相談実施状況 (表Ⅱ-1)

項目 月	労災事故相談				その他 の相談	事務処理状況			
	新規	継続	その他	計		代理請求			計
						7号	8号	10号	
4	66	492	321	879	180	4	127	5	136
5	57	587	308	952	160	1	143	6	150
6	38	550	276	864	144	2	127	6	135
7	67	578	319	964	143	7	126	2	135
8	47	531	321	899	153	5	129	7	141
9	45	476	323	844	158	1	96	13	110
10	65	512	378	955	234	11	109	10	130
11	50	463	433	946	236	1	107	3	111
12	72	625	473	1,170	296	3	132	3	138
1	64	591	501	1,156	316	1	130	11	142
2	69	588	465	1,122	343	5	117	8	130
3	77	687	485	1,249	295	3	125	8	136
合計	717	6,680	4,603	12,000	2,658	44	1,468	82	1,594
前年度	856	6,548	3,445	10,849	2,286	83	1,518	101	1,702
年計画	1,100		11,000	12,100					2,000

労災休業補償立替貸付状況 (表Ⅱ-2)

月	新規 貸付人員	貸付 打切人員	貸付 実人員	貸付 延日数	立替貸付状況		差額預り金支払状況	
					件数	貸付額	件数	支払額
継続	(92)							
4	27	19	119	3,141	1,105	21,453,465	106	14,074,543
5	29	22	129	3,319	1,151	22,787,769	127	13,453,421
6	16	22	123	2,618	994	17,907,479	103	15,424,127
7	22	23	123	2,999	916	18,785,166	110	18,088,825
8	16	23	116	2,893	867	18,440,995	102	14,997,959
9	13	30	106	2,310	742	15,436,000	109	14,529,725
10	34	24	110	2,583	769	15,696,980	101	14,099,391
11	20	9	106	2,592	860	16,125,820	90	12,250,807
12	23	11	120	3,495	853	20,700,587	113	15,399,117
1	17	30	126	2,652	852	17,087,000	114	13,802,379
2	20	16	116	2,375	842	17,180,561	97	12,156,330
3	23	19	123	2,939	986	18,593,020	121	14,369,344
合計	260	248	352	33,916	10,937	220,194,842	1,293	172,645,968
前年度	311	316	441	39,615	13,987	265,016,088	1,262	171,921,608

労災新規立替貸付者状況 260名 (表Ⅱ-3)

		人	%
年 齢	平均	53	
現 在	扶養者有	19	7.3
住 所	西成	228	87.7
	その他	32	12.3
部 屋 代 (平均) 円	日払	1,581	
	その他	38,086	
雇 用 形 態	日雇	155	59.6
	常用	105	40.4
安 全 教 育	有	90	34.6
産 業 分 類	建設	246	94.6
	運輸	4	1.5
	製造	4	1.5
	その他	6	2.3
負 傷 現 場	大阪市内	60	23.1
	大阪府下	68	26.2
	近畿府下	102	39.2
	その他	30	11.5

休 業 補 償 日 額 (円)	最 高	16,100
	最 低	4,080
	平 均	9,446

		人	%
負 傷 時 刻	初～ 10	64	24.6
	10～12	65	25.0
	12～15	55	21.2
	15～17	60	23.1
	17～ 終	16	6.2
負 傷 部 位	手 部	68	26.2
	足 部	105	40.4
	頭 首 部	31	11.9
	腰 部	25	9.6
	胸 部	19	7.3
	そ の 他	12	4.6
傷 病 名	挫 傷	30	11.5
	切 創	12	4.6
	打 撲	18	6.9
	捻 挫	24	9.2
	骨 折	158	60.8
	そ の 他	18	6.9

年齢分布 (新規立替者) (表Ⅱ-4)

年 齢	人	%
～ 30歳	3	1.2%
31～ 35歳	6	2.3%
36～ 40歳	7	2.7%
41～ 45歳	37	14.2%
46～ 50歳	45	17.3%
51～ 55歳	65	25.0%
56～ 60歳	42	16.2%
61～ 65歳	39	15.0%
66～	16	6.2%
合 計	260	100.0%

最 高	77歳
最 低	23歳
平 均	53歳

立替打切者状況 (表Ⅱ-5)

		骨折	打撲	捻挫	他	合計	%
手腕部	人数	46	0	1	19	66	26.6
	平均受給日数	115	0	33	63	(99)	
足脚部	人数	75	4	2	26	107	43.1
	平均受給日数	184	24	16	72	(148)	
その他	人数	31	15	19	10	75	30.2
	平均受給日数	192	249	282	109	(215)	
合計	人数	152	19	22	55	248	100.0
	平均受給日数	165	202	247	76	(153)	
	%	61.7	7.7	8.9	21.7	100.0	

休業補償受給日数	最高	1,610
	最低	2
	平均	153

障害補償請求者	82 (打切者数の33.1%)
---------	--------------------

2. 技能資格取得促進

1993（H5）年度にはじまったこの事業は、労働安全衛生法にもとづく技能講習と特別教育の修了証取得を助成するものであるが、今年度は延べ8回66名の受講に対し「ガス溶接」19人、「アーク溶接」26人、「車両系＝整地」8人、「車両系＝解体」12人が修了証を得た。事業開始以降4年間で修了証の取得者は延べ206名に達している。

3. 医療相談・措置

早朝詰所と労働福祉係窓口で軽微な外傷手当と、傷テープや家庭薬の手渡しを行なった。診療を必要とするものに対しては大阪社会医療センターへ依頼書を発行している。家庭薬と傷テープの手渡しが146,287件、簡易処置は455件であった。診療依頼は8,211件、他に救急車依頼69件、他機関案内など1,756件、計156,778件となった。

4. 労働者援助

短期宿泊援助

就労できなかつたり、賃金の支払いが遅れるなどの事情で困っている労働者に対し、宿泊と食事を援助するため、一泊二食を基準として大阪自彊館に依頼している。本年度は相談数2,142件、依頼措置1,162件、宿泊数1,122件であった。

生活援助

未払賃金の受取り、労災手続き、就労などで事業所までの交通費に困っている事例やその日の食事・宿泊に窮しているばあいなど、実費程度の少額援助を行なった。本年度は361件あった。

労働者疾病援助

病気などで困窮している労働者に対し、物品の援助を55件行なった。

労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

労働関係相談は就労目的で行なう電話の貸付け、所在地調べ、雇用保険印紙の貼付依頼、技能講習案内、同再交付手続きの援助等について6,646件であった。

生活身上相談は住民登録のための援助、公団の住宅入居などにとまなう所得証明（雇用保険印紙貼付数に対して行なうもの）、健康保険に関するもの、郵便物の受渡し、尋ね人、落とし物等4,855件であった。

住民登録の相談は、これが雇用保険手帳の取得条件であるために行われる場合がほとんどであるが、ケースによっては、前住地へ転出証明を請求できないこともある。職権消除（移転先不明で登録が抹消され、本籍地へ戻されるもの）されておれば、戸籍抄本と附票の取寄せが必要となり、失踪宣告されていると裁判所等での復籍手続きが求められる。

郵送料とケースによっては、手数料を預かって請求するが、復籍手続の場合は複雑なため、関係機関へ本人を同道して援助する。本年度の相談件数は1,427件、請求は581件だった。うち、復籍の援助ができたケースは4人であった。

健康保険の相談では、毎月の資格確認のあとで「遠隔地の就労先へ保険証を送って欲しい」という要望が広がっており、本年度は317件で、前年度より4割近く増加した。全体の相談数は906件である。

その他の相談は「他施設・機関に対する不満を伴うもの」から「針と糸を貸してくれ」「単身者住宅の空き家情報を知りたい」など細々した依頼のほか、飲酒者対応を含めて11,137件であった。

労働者福利厚生

恒例の「たそがれコンサート」を9月に三角公園で開催した。7年目になる府立淀川工業高校吹奏楽部を招いての演奏会は、地区労働者が高校生と交流する場ともなり、すっかり定着している。その日を期待して約千人の労働者が集まった。

11月には、32名の参加で「将棋愛好者のつどい」を開いた。和気あいあいのうちに3クラスの勝ち抜き戦がくりひろげられた。森六段（日本将棋連盟）の指導対局も恒例になり、六面打ちで熱戦に持ちこむ参加者もあった。

夏、冬の一定期間、シャワールームの無料開放も実施した。

広報・啓発活動

求人状況や労働、健康知識の広報と啓発、また労働者の生の声や体験なども編集して、広報紙「センターだより」を毎月2,000部発行した。就労と生活に欠かせない制度や規則のミニ解説と社会資源や交通案内などをおさめた「労働者便利帳」も5,000部発行した。

5. 日雇労働者福利厚生措置事業

あいりん地区日雇労働者の福祉の増進を図るために、本年度は夏期に16,300円を13,212人、冬期は18,000円を13,553人に、それぞれ支給した。

1996（平成8）年度 技能講習、医療、緊急措置相談状況表 （表Ⅱ-6）

1996年度 (平成8)	技能講習				医療相談						緊急措置相談								
	申込	選考	受講	修了	家庭薬		診療 依頼	他機関 案内	救急車 依頼	計	短期宿泊				疾病給付		生活援助給付		
					手渡し	処置					相談	依頼	宿泊	返戻	物品	給付金	相談	措置	返戻
4月					15,020	105	784	99	6	16,014	247	135	130	70	6	0	85	33	16
5月	39	35			14,468	40	735	106	2	15,351	209	126	120	73	4	0	73	20	15
6月	19	19	29	12	14,102	40	697	91	5	14,935	195	121	116	71	7	0	97	22	10
7月			17	30	14,866	65	729	82	13	15,755	187	99	94	80	7	0	90	16	11
8月					13,532	43	699	127	3	14,404	186	104	99	66	3	0	85	32	9
9月	5	5	5		13,269	28	681	137	5	14,120	179	103	102	74	3	0	87	34	11
10月				7	12,472	21	689	201	7	13,390	180	89	81	95	4	0	104	27	15
11月	12	12	12		11,540	24	612	218	4	12,398	134	69	69	75	7	0	66	20	17
12月					9,455	22	600	161	5	10,243	143	62	60	68	3	0	94	24	17
1月	3	3		12	8,690	25	708	164	5	9,592	167	89	86	64	4	0	90	49	13
2月			2	2	9,118	21	595	177	6	9,917	130	69	67	70	4	0	62	37	22
3月			1	2	9,755	21	682	193	8	10,659	185	96	98	54	3	0	69	47	15
合計	78	74	66	65	146,287	455	8,211	1,756	69	156,778	2,142	1,162	1,122	860	55	0	1,002	361	171
前年度	96	89	75	62	166,059	365	7,721	1,402	56	175,603	2,171	1,087	1,029	883	68	1	1,133	334	184
年度計画				60	170,000	7,000			2,000	179,000		900				130			700

★「家庭薬・手渡し」には傷テープも含む

1996（平成8）年度 技能講習実施状況表

（表Ⅱ-7）

	ガス溶接				アーク溶接				車輛系建設機械 「整地他用」				車輛系建設機械 「解体用」				備 考
	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	
4月																	
5月	21	19	15														
6月				12	18	16	14		8	8			11	11			(ガ) 1名不合格
7月								13			7	7			10	10	
8月																	
9月	5	5	5														
10月				7													5月の補講分2名を含む
11月					12	12	12										
12月																	
1月								12	1	1							6月の補講分1名を含む
2月											1	1	2	2	1	1	「解体」の1名は3月に受講
3月								1							1	1	「アーク」の1名は11月の補講分
合計	26	24	20	19	30	28	26	26	9	9	8	8	13	13	12	12	
前年度	24	23	22	21	35	22	20	20	12	11	10	8	25	19	14	14	
年度計画	20				20				10				10				

1996 (平成8) 年度 労働関係、生活・身上相談等措置状況表 (表Ⅱ-8)

1996年度 (平成8)	労働関係相談								生活・身上相談										泥酔 トラブル	その他
	就労 関係	雇用保険		技能講習 案内	修了証等再交付		計	手続等	戸籍、住民票		健康保険		郵便物 受渡	所得 証明	尋ね人	落とし物	計	手続等		
		相談	請求		相談	手続			相談	手続	相談	資格票 送付								
4月	244	117	11	140	86	46	587	57	123	52	70	22	183	1	13	8	398	74	478	928
5月	219	92	4	153	74	36	538	40	137	58	76	27	179	6	21	7	426	85	390	680
6月	270	105	4	118	92	45	585	49	97	41	55	24	194	2	20	9	377	65	358	721
7月	203	70	2	135	74	18	482	20	112	47	67	29	158	4	26	20	387	76	286	704
8月	226	96	1	159	52	15	533	16	109	42	66	13	164	3	14	16	372	55	305	711
9月	215	75	5	138	63	9	491	14	122	45	66	20	177	5	10	9	389	65	301	653
10月	270	112	6	192	83	19	657	25	144	58	91	32	184	2	17	15	453	90	268	614
11月	262	97	1	143	55	10	557	11	119	38	84	29	130	4	16	7	360	67	207	513
12月	271	91	4	120	42	8	524	12	86	29	68	22	169	3	13	5	344	51	229	560
1月	257	107	3	183	52	5	599	8	146	71	93	31	153	1	31	4	428	102	213	520
2月	244	95	3	126	40	3	505	6	110	49	80	33	137	2	18	12	359	82	242	481
3月	260	88	0	188	52	10	588	10	122	51	90	35	324	4	9	13	562	86	241	534
合計	2,941	1,145	44	1,795	765	224	6,646	268	1,427	581	906	317	2,152	37	208	125	4,855	898	3,518	7,619
前年度	3,441	1,271	124	1,219	748	331	6,679	455	1,450	568	645	233	2,463	40	204	131	4,933	801	6,151	10,810
年度計画				2,000		300				550						2,500				

★「落とし物」については届け物受理数である。 ★「郵便受渡し」は郵便物受理数である。 ★「所得証明」には公団単身者住宅申込時のものを含む。

健康保険取扱状況（玉出社保）（表Ⅱ－9）

項目 年度	被 保 険 者 手 帳				年度末 有効手帳	受 給 資 格 者 票				受給資格 確 認	傷病手当 件 数
	新 規	更 新	再交付	計		新 規	更 新	再交付	計		
91（平成3）	853	6,507	1,195	8,555	9,786	635	6,123	1,025	7,783	46,885	1,620
92（平成4）	799	5,869	1,092	7,760	8,939	538	5,495	827	6,860	41,350	1,594
93（平成5）	918	5,386	1,144	7,448	8,586	553	4,977	786	6,316	38,205	1,059
94（平成6）	1,230	5,249	1,245	7,724	8,414	668	4,843	891	6,402	37,907	996
95（平成7）	1,626	5,459	1,296	8,381	9,009	1,058	5,048	1,029	7,135	41,919	755
96（平成8）	1,668	5,816	1,174	8,658	9,164	1,025	5,352	943	7,320	44,221	859

雇用保険業務取扱状況（あいりん職安）（表Ⅱ－10）

項 目 年 度	新 規 求職者数	年度末有効 求職者数	保険金給付実人員 (各月合計)
91（平成3）	1,013	13,250	114,602
92（平成4）	1,015	12,626	102,808
93（平成5）	1,149	12,300	96,382
94（平成6）	1,853	13,468	99,847
95（平成7）	2,291	14,530	113,772
96（平成8）	2,282	15,130	118,659

日雇労働者 福利厚生措置事業 措置状況（表Ⅱ－11）

項目 年度	夏 期			冬 期			合計支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
91（平成3）	13,200	12,474	164,656,800	14,900	12,443	185,400,700	350,057,500
92（平成4）	13,800	11,486	158,506,800	15,600	11,560	180,336,000	338,842,800
93（平成5）	14,400	11,194	161,193,600	16,200	11,287	182,849,400	344,043,000
94（平成6）	15,100	11,302	170,660,200	16,800	11,795	198,156,000	368,816,200
95（平成7）	15,700	12,477	195,888,900	17,400	12,943	225,208,200	421,097,100
96（平成8）	16,300	13,212	215,355,600	18,000	13,553	243,954,000	459,309,600

センターだより

センター広報紙
第254号
1997年2月20日発行
(財)西成労働福祉センター
大阪市西成区萩の茶屋1-3-44
☎06-641-0131

2月4日高齢者清掃にセンターだよりの取材をかねて参加させていただきました。月に1~2回しかまわってこない分、一生懸命地区の清掃をがんばっておられたのが印象的でした。もう少しでも働く機会があれば、みなさんもっとイキイキした顔になれるのになあというのが感想です。意外と交通量が多いところでの清掃なので、気をつけてこれからもがんばってください。(M)

唯一の労働者種別はたらき

—高齢者清掃事業をILPとして—

仕事ぶり

私たちが取材した時は、交通量が比較的多い「銀座通り」周辺での清掃で、空缶・空びん・新聞雑誌・果物の皮等が目立って多く、それらのゴミを一ツツ長ばさみとほうきで集められているところでした。

ゴミによっては道にこびりついて取りにくいものもあるようでしたが、皆さんは丁寧にしかも手際よく集められていました。

引き続き、長ばさみとほうきを持ってゴミの回収をする人と、回収されたゴミをかごをリヤカーで現場詰所まで運ぶ人とに別れ、作業が進んでいきました。

リヤカーで詰所に戻った労働者のかたは、清掃責任者の「無理をせず二人一組

で積み上げて」の指示で、ゴミで一杯になったかごを三段重ねで背丈までの高さまで積み上げていきます。そのゴミかごは多い日は一五〇箱にも及ぶそうです。また、道路際に設置され

午前中の作業を終える前に、使っていた道具を所定の場所にキツチリと整理整頓されておられたのも印象的でした。



人数を増やしてほしい

〇さん 65才
普通の日はいえけど、休み明けはゴミが倍になるのでとにかく人数を増やしてほしいなあ〜(ゴミ箱平均83.5杯→休み明け平均128杯)。それと雨の日は、ゴミがひっついて取るのが大変やねん。それでも私らはほかに仕事ないし、生活がかかっているから一生懸命やってるわ。特別清掃始まってから1回も休んだことないですよ。

賃金は5700円やけど、ドヤには泊まれへん。青カンして炊きだし食べて5日しかもてへん。自分の番号が回ってくるのを長くして待ってますわ。

月に1~2回では...

Pさん 62才
月に13~15回まわるようにしてほしい。そしたらアブレもらえるし。ワシ手帳持っているけど、2~3枚しか貼られへん、持っても意味ないわ。賃金も安いわ。月に1回しかまわってこんから1日180円の計算や、これでは生活できん。昔世話になった堺のN警備がガードマンで雇ってくれるんやけど、それもほんまにたまやからなあ、あてにできんわ。

萩の茶屋商店街

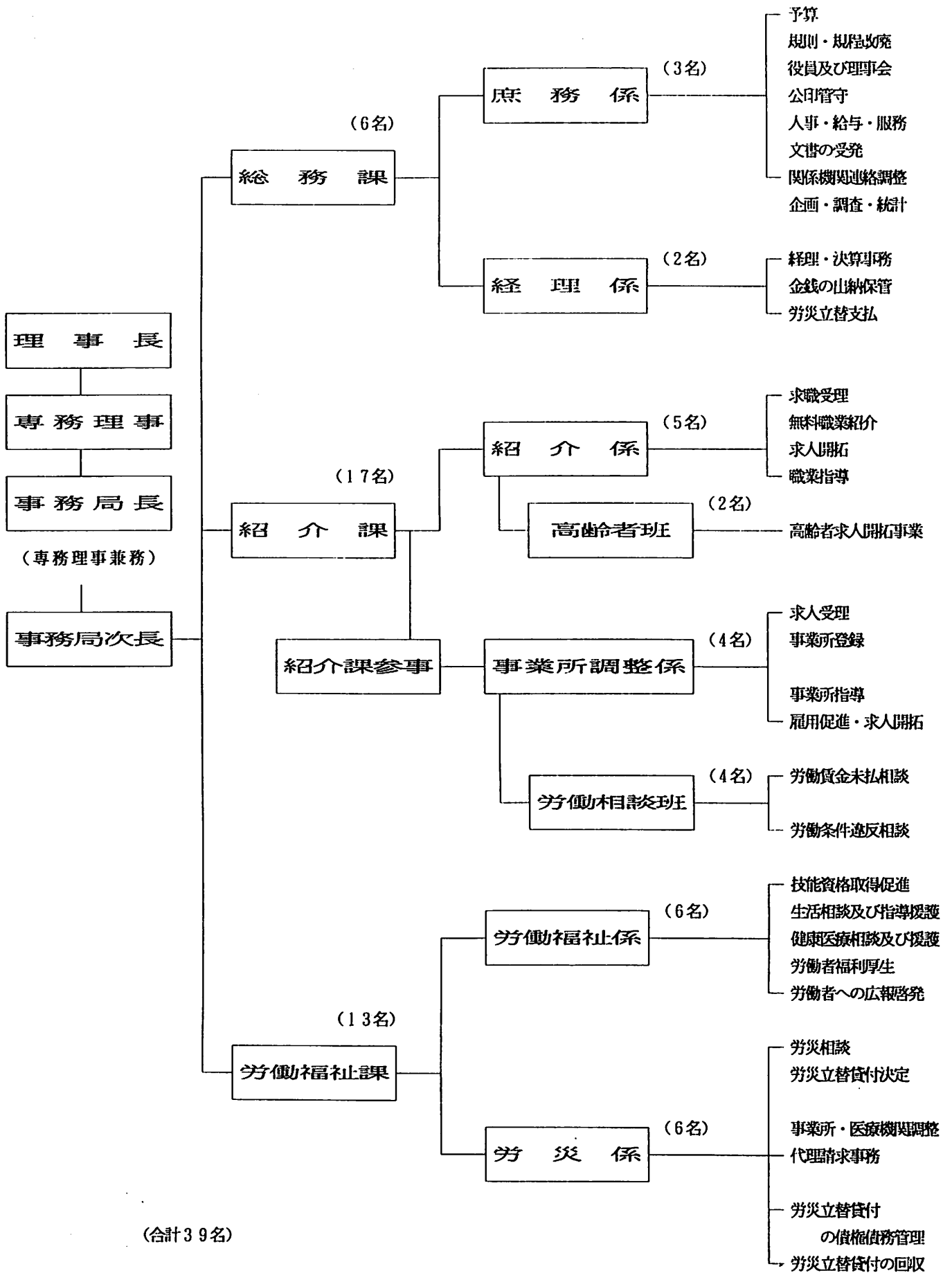
Aさんより

高齢者清掃で働いている労働者の人の仕事ぶりは皆さんテキパキとまじめに清掃されていると思います。高齢者清掃によって街が少しでもきれいになることは本当にありがたいことです。でも、それ以前に地域外からのゴミの不法投棄をやめてほしい。労働者の皆さんも街に愛情を持って、ポイ捨てには注意してほしいですね。



組 織 図 (1997年4月1日現在)

(分担事務)



沿 革

昭和36年(1961)	8月 1日	釜ヶ崎事件(平成5年度末まで23回不法事案発生)
昭和36年(1961)	9月 1日	大阪府労働部西成分室開設
昭和37年(1962)	9月28日	無料職業紹介事業許可(労働省収職第1420号)
昭和37年(1962)	10月 1日	財団法人西成労働福祉センター設立
昭和37年(1962)	12月17日	第1回事業主懇談会
昭和38年(1963)	6月10日	求職の登録制度開始
昭和39年(1964)	9月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
昭和40年(1965)	4月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
昭和41年(1966)	4月 1日	労災立替貸付業務開始
	6月	釜ヶ崎を「あいりん地区」と呼称
昭和45年(1970)	10月 1日	あいりん総合センター開所(事務所移転)
昭和45年(1970)	12月30日	求職の登録制度廃止
昭和47年(1972)	8月 1日	大阪府労働部に特別対策室設置
昭和49年(1974)	6月28日	3部制を4課制に改める。労働相談窓口専門化
昭和50年(1975)	8月	日雇労働者福利厚生措置、財団で取扱開始
昭和51年(1976)	11月 1日	事業所登録制度始める
昭和52年(1977)	11月28日	第1回就労正常化促進週間実施
昭和53年(1978)	1月30日	「センターだより」創刊
	6月12日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
昭和55年(1980)		「労働者便利帳」発行
昭和56年(1981)	3月 5日	「将棋愛好者の集い」を開催
	6月	窓口紹介、集中公開方式始める
	9月 3日	第1回たそがれコンサート開催
昭和58年(1983)	5月18日	4課8係制へ改正。事業所係、労働相談係設置
平成 元年(1989)		日雇(現金)求人数センター発足以来最高の年に
平成 3年(1991)	4月 1日	3課6係2班制に組織改正
平成 5年(1993)		技能講習(ガス、アーク溶接)開始
平成 6年(1994)	11月	特別清掃事業実施(大阪府・市)
平成 7年(1995)		技能講習(車両系(整地、解体))開始
平成 9年(1997)	4月 1日	組織改正(3課6係2班)
		紹介課高齢者班設置、労働福祉課労災係管理班廃止

守 ろ う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 かな 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財団法人 西成労働福祉センター

〒557 大阪市西成区萩之茶屋1丁目3番44号

電 話 06-641-0131(代)

06-632-3200(紹介係)

06-634-6535(労災係)

FAX 06-641-0297

